

令和4年度 第2回大口町保育所運営委員会 会議録

開催日時	令和5年3月14日（火）午後1時30分より
開催場所	健康文化センター 1階 機能回復訓練室
出席者名	<p>議会議員代表 2名 民生委員・児童委員代表 3名 私立保育園法人代表 1名 保護者代表 8名 事務局 10名</p>
次 第	<p>1 委員長挨拶 2 自己紹介 3 協議事項 (1) 令和4年度保育所運営の報告について（資料1-1～1-4） (2) 令和5年度保育所運営について ・令和5年度保育園園児数について（資料2） ・年間事業計画について「ことしのあゆみ」（資料3） 4 その他</p>

（進行：福祉こども課長）

副委員長	<p>1 副委員長挨拶</p> <p>2 自己紹介（紙面上にて確認）</p>
------	--

（進行：副委員長）

南保育園 園長	<p>3 協議事項 (1) 令和4年度保育所運営の報告について 南保育園（資料1-1） 南保育園は、持続可能な開発目標SDGsの17のゴールのうち、11番「住み続けられるまちづくりを」を目指し、4番「質の高い教育をみんなに」17番「パートナーシップで目標を達成しよう」の目標に向かって取り組んでいる。 「農道散歩」では、0歳児クラスから年長児5歳児クラスまで、園周辺の農道を散策しながら年齢に応じて、草花で遊んだり、散歩マップを作成したり、</p>
------------	--

豊かな自然にたくさん触れて、子どもたちの好奇心や興味が膨らむような取組みを行ってきた。昨年度から散歩の経験がある年中児や年長児は、散歩に出かけ摘んできた草花や見つけた虫を図鑑で調べたり、部屋に飾ったり、家に持ち帰る姿が見られるようになった。また、「こんなところにお花が咲いている」「カエル見つけたよ」など子どもたちからつぶやきや気づき、発見が沢山聞かれ、会話を楽しむ姿が見られるようになった。

「地域発信」では、コロナ禍でしばらくできていなかった地域交流を始めた。南地区の秋田・豊田・大屋敷の老人クラブの方に保育園に来ていただき、園児と交流をし、現在行っているSDGsや散歩活動についての取組みを知ってもらえる機会ができた。地域の方からは、「近くにこんな神社があるから遊びにおいでよ」「散歩をするときに人をよんであげるよ」など声を掛けていただき、とても嬉しく思った。今後も交流を続けていき、散歩活動を進めていく上で、安心・安全に出かけるために『お散歩見守りサポーター』へと繋げていけるようにしていきたいと思う。また、掲示板を使って、保護者にむけて、子どものつぶやきを紹介したり、保育園の取組みなどを知らせたりしている。

「郷土愛活動」では、大口町の南部地域にまつわる話を、歴史民俗資料館の学芸員の方に聞き、実際に現地に出かけたりする活動を今年度も行っていただいた。年長児になると、現地に出かけられるということも、子どもたちの楽しみの一つとなっている。先日も、保育園から健康文化センターの歴史民俗資料館まで歩いて来て、学芸員の方のお話を聞いた。年長児の足で片道45分の道中は、保育園のある豊田地区から出発し、秋田・大屋敷と南部地区を自分の足で歩いて知る機会にもなった。

これからも、保育園周辺の自然や自分たちの住んでいる地域の良さを知り、人や町に親しみをもつことができるような活動を取り入れていきたいと思う。

南保育園
父母の会会長

南保育園 父母の会活動報告

<お楽しみ会> 年3回実施

- ・6月 丹羽消防署来園による、消防車の乗車、防火服着用体験
- ・8月 園の夏祭りに参加（ヨーヨー釣り）
- ・11月 東海テレビによる「すくすくポン」撮影 12月放映

<絵本の読み聞かせ> 年7回実施

- ・6月～12月 保護者ボランティアが園児に絵本の読み聞かせを行った。

<救命講習会>

- ・父母の会役員5名参加

<p>西保育園 園長</p>	<p><プレゼント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り（ヨーヨー、光るおもちゃ） ・クリスマス会 ・卒園進級プレゼント <p><写真撮影・販売></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11行事に参加、5470枚撮影し、8月、12月、1月に販売、18万円の売り上げ。 ・一人当たり1500円分を122名の園児に還元。 (卒園進級プレゼント、卒園式の花、バルーン) <p>西保育園（資料1-2）</p> <p>この資料は12月に大口町まちづくり協働フォーラム まちづくりマーケットに参加し、大口町で活動されている団体さんに保育園の取り組みを紹介させていただいた時の資料でもある。</p> <p>西保育園は、持続可能な開発目標（SDGs）の11番「住み続けられるまちづくりを」を目指し、12番「つくる責任使う責任」17番「パートナーシップで目標を達成しよう」の目標を掲げ、その中でも12番の「つくる責任使う責任」に重点を置き、食育サポートさんと関わりながら、保育園の畑で栽培・収穫した野菜を無駄なく使用し、「給食の残食数を減らそう」という目標に向けて、取り組んできた。</p> <p>野菜の栽培・収穫では、苗植えから水やり、草取りなどの世話も経験し、育てるための大切な作業であることや、大変さを実感することができた。この経験は、より一層、食べ物を大切に扱おうとする気持ちを育んだ。また、食育サポートの方は、子どもたちと一緒に活動することが、「楽しみ」であり、無駄なく栽培物を使用する姿をみることで、「よろこび」や「やりがい」に繋がっているように感じた。</p> <p>家庭発信については、保護者の方の関心が高まるように、保護者とのやり取りができる環境を整えた。給食サンプルの展示に加え、畑の場所や野菜の配置図等のお知らせをして、園の畑への関心を持ってもらい、子どもとの会話の話題提供をした。</p> <p>また、家庭への意向調査も行った。「食材を買いすぎない」「買い物に行く前にメモをして無駄なものは買わない」「作りすぎない」「賞味期限が近くなったら冷凍する」「すぐに食べる物であれば、賞味期限が近い物から購入する→SDGsですよね」という言葉も保護者から聞かれ、フードロス削減への関心が高まっていることがわかった。</p> <p>給食Gs（給食ジーズ）とは、子どもたちによる園内放送のこと。子ども</p>
--------------------	---

	<p>たちの気づきや考えを伝えられるように援助しながら 年長児が主になって収穫した野菜、収穫量、給食に使われている食材、残食量などを知らせている。伝える側も聞く側も、毎日の放送を楽しみにして、残食0への意識がより高まってきた。次年度への引継ぎもできつつあり、任された年中児は喜んでいる。</p> <p>そのほか郷土愛活動では、余野地区にある「山姥物語」「白山ふれあいの森の古墳群」について学び、歴史民俗資料館や新しくできた役場南ひろばへの散歩に出かける等、1年を通して住んでいる町への関心を持つことができた。運動会では、郷土愛活動で学んだことを競技に取り入れたり、今年度は町制60周年ということもあって、子ども達と町の誕生日をお祝いしたりしながら、大口町に関心を持って過ごすことができた。</p> <p>今年度も保護者の方にはご理解とご協力をいただきながら過ごすことになった。食育サポートの方との活動が一緒にできるようになり、今後は地域の方との交流も再開していきたいと考えている。</p>
<p>西保育園 父母の会会長</p>	<p>西保育園 父母の会活動報告</p> <p><エコキャップ回収></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オイスカへ届けた。 <p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月 服部半蔵忍者隊(名古屋おもてなし武将隊の団体)による忍者ショー <p><写真撮影・販売></p> <ul style="list-style-type: none"> ・7行事に参加、6800枚撮影し、22万5千円の売り上げ。 ・子どものプレゼントに還元。 <p><プレゼント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り、運動会、クリスマス、卒園進級プレゼント <p><役員選考会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートを取り、対象者を集めて行った。
<p>北保育園 園長</p>	<p>北保育園(資料1-3)</p> <p>北保育園は、持続可能な開発目標(SDGs)の17のゴールのうち、11番「住み続けられるまちづくり」を目指し、12番の「つくる責任 つかう責任」と15番の「陸の豊かさも守ろう」の目標に向かって取り組んできた。</p> <p>12番の「つくる責任 つかう責任」では、「園舎を大切にする」を目標に、回廊外階段をきれいにする取り組みを昨年度の「びかびか大作戦!」か</p>

らバージョンアップして「スーパーぴかぴか大作戦！」とし、「汚れを落とすブラシ掛け」「ささくれだった木材を直す紙やすり掛け」「木材を保護する油塗り」と活動時期を明確にし、取り組んできた。水を使うブラシ掛けは、夏の水遊びと兼ねて行い、遊びの延長として楽しみながら行うことができた。年長児が行うのを年中児が見て、年中児が行うのを年少児が見て…というように年上の子の様子から年下の子が興味を持ってやりたがり、行い方も見ていることで覚えたり、「こうするんだよ」と教えてもらったりする中で理解し、保育士が教えなくても年上から年下の子へ子どもたち同士で教えあう微笑ましい様子も見られた。

昨年度からの課題であった保護者をどう巻き込んでいくかは、保育参観や親子マイ箸づくりなど、保護者が園にみえる機会を利用し、保護者に呼びかけ参加してもらった。どの保護者の方も快く引き受けてくださり、子どもたちから保護者の方へ行い方を知らせ、親子が「北保育園をきれいにしよう」という同じ気持ちを持って取り組むことができた。

「スーパーぴかぴか大作戦！」は回廊外階段をきれいにすることだけではなく、木でできた机や椅子の傷みも直したりしていた。しかし、私達の手だけでは十分とはいかず、今年度は建築業者の方にメンテナンスをしていただいた。表面の凸凹が滑らかに、そして艶やかになった机を見て、子どもたちも職員も大歓声を上げ、すぐに触ったり匂いをかいだりして喜ぶと共に、直したら元通りになることを見て、触れて実感することができた。「大事に使おう」「物を置くときは優しく」と子どもたちが自然と気をつけようとする姿があり、日々のSDGsの取り組みが子どもたちの気づきや学び、習慣となっていることを改めて感じた。

「園舎を大切にする気持ち」や「傷んだところをなおして大切に使い続けていくことの大切さ」が特別なことではなく日常となってくれることを嬉しく思う。

北保育園が完成して今年度で6年が過ぎようとしている。環境に考慮して建てられた園舎のことを子どもたちや保護者の方にどう伝えるかが課題となっていたが、今年度「地球にやさしい北保育園」として保育士手作りの紙芝居を作ることができた。建設の様子と共に、子どもたちにわかりやすく伝え、北保育園理解や愛着につなげていきたいと思う。

15番の「陸の豊かさを守ろう」では、木育と重なる所もあり、木に触れ、遊ぶことを通して、自然や山にも目がいき、そこにあるモノや人の命を大切にしていけることを伝えてきた。木のマイ箸も森のお守りMOTTAINAI工房での見立て作品も同じものは一つとしてなく、自分だけの大切な宝物になっている。

<p>北保育園 父母の会会長</p>	<p>このSDGsの活動を通して、木造園舎、芝生園庭、桜の木、ビオトープ回廊に入り込む暖かい日差し、心地よい風など、木や自然を感じる北保育園がいつまでも子どもたちの心の中に残り、大切に守っていける保育園となっていたのではないかと感じている。今後も引き続き行い、子どもたちだけでなく、大口町にとっても大切な保育園としていきたいと思う。</p> <p>北保育園 活動報告</p> <p><エコキャップの回収></p> <ul style="list-style-type: none"> ・オイスカへ寄贈 <p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月 丹羽消防署来園による、煙体験、消防服着用。 ・12月 東海テレビによる「すくすくポン」撮影 1月放映 ・1月 バルーンショー <p><写真撮影・販売></p> <ul style="list-style-type: none"> ・11行事に参加、30万円の売り上げ。 ・クリスマス、卒園進級プレゼント、保育園に室内運動用具寄贈。 <p><畑の管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の水やり、草取り。
<p>大口中保育園 園長</p>	<p>宝光福祉会大口中保育園（資料1-4）</p> <p>『遊びの中からの学び』を保育の柱として、一人ひとりの主体性を大切にする保育を行っている。特に力を入れている特色は、「体力作り」で、子ども達の基礎体力の一環として運動遊びを日々の活動に積極的に取り入れており、人との関わりが育ってきていると実感している。</p> <p>月1回～2回程度、専門指導員による体操・運動遊び（跳び箱・鉄棒・マット運動など）の指導を受け、一人ひとりに合った目標を立て、アドバイスをいただきながら取り組んでいる。友だちの頑張っている姿を見て応援し、影響を受け自分も出来るようになりたいと頑張る気持ちを持ち、手にがんばりまめを作りながら挑戦する姿がよく見られるようになった。運動会には、年長児の種目として鉄棒・跳び箱で日頃の成果を保護者の方にも見ていただける時間も設けている。</p> <p>年に3回のサッカー教室や夏のプールの指導なども経験できる年間計画を立てている。その他の週は、保育士が子どもの発達などを考慮した運動計画のもと、運動遊びを行うなど、1歳児から5歳児までの発達の流れを把握し、幼児期に必要な様々な運動能力を十分引き出す体験をさせ、子どもの育ちを促している。体力作りと自然を楽しむ事を兼ねて、どの年次も頻繁に散歩に出掛</p>

けている。

食育の活動では和菓子作りに挑戦している。和菓子作りを通して、日本の文化に触れ、和菓子の形や材料などにも興味を持つことができるきっかけになればと年長・年中児対象に計画した。和菓子の先生に教わりながら、中に入れるあんを丸め、優しく生地で包む真剣な様子が見られた。季節の花や果物、行事にちなんだ和菓子作りを今後も年に数回取り入れていきたいと考えている。

保育園の畑では、地域の方のお世話になり春はいちご、秋にはさつま芋の収穫を行っている。また、保育園の園庭では、今年度も年長児が一人一鉢プチトマトを育て送迎時に保護者の方にも一緒に生長を楽しんでいただいた。年少・年中児もプランターで夏野菜を育てており、ピーマン・インゲン・ナスなど収穫を楽しんでいる。収穫した野菜を使ってクッキングなども行った。

クッキングには、「素材の食べ物について理解を深める」「季節ごとの食事を味わう」などのねらいがある。他保育士は調理員さんと旬の収穫した野菜を使ったメニューを相談し、一緒にクッキングに取り組むことで園児たちも調理員さんに親しみをもつきっかけにも繋がっている。

異年齢活動の取り組みでは異年齢の子と一緒に集まることから、「年下の子がわかるようにルールを簡単にして鬼ごっこしよう」「お姉さんは歌が上手だから私もそうになりたい」などお互いの言動や行動が刺激になることが考えられる。お店屋さんごっこでは、年中児が年長児のお店で買い物経験をしたことで、自分たちも年少児を相手にお店屋さんごっこをしたいと準備をする行動につながっていった。

今年度の年長児は、歌・ダンス・制作など自分の好きな事、得意な事を発揮する機会を自分たちで作り上げていった。自分の得意を皆に見てもらいたいと、ステージを設け、宣伝して、コロナ対策としてチケット制にして人数を制限するなど、大人には予想もつかないアイデアが生まれていた。

異年齢児が共に遊ぶ中で、年少児は年長児を頼ったり、真似をして遊んだりする姿が見られた。また、年長児は年長者としての自覚を持ち、お世話をしたり、喜んで関わり合おうとしたりする姿が見られるようになった。

楽しい雰囲気の中で体験する園行事は、子どもにとってかけがえのない経験となる。子どもたちが楽しく豊かな生活ができるよう、また、子どもたちの成長のきっかけやその成長を実感できる機会となるよう、年間を通して様々な行事に取り組んでいく。

<p>大口中保育園 父母の会会長</p>	<p>このほか自主事業としまして、一時預かりを行っているが、就労・リフレッシュ・就職活動など、今年度も多くの利用があった。</p> <p>今後も、大口中保育園の特色を大切にしつつ、子どもたちの健やかな成長と、保護者の皆様からの安心感・信頼感を大切に、取り組んでいきたいと思う。</p> <p>大口中保育園 父母の会活動報告</p> <p><いちご畑の管理></p> <p><行事のプレゼント></p> <p><写真撮影・販売></p> <p><資源回収>年3回実施</p> <p><制服のリユースバザー>ウィル大口の協力により、ふれあいまつりで実施</p> <p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東海テレビによる「すくすくポン」撮影・放映 ・愛知県交通安全教育「かけ橋」によるマジックショー ・フジテレビ「ハロー！どっこくん」による食育出前ショー ・バルーンショー ・移動動物園（やぎ、うさぎ、モルモット、ゾウガメ、パンダマウス、ひよこ、へび）
<p>議会議員代表</p>	<p><質疑応答></p> <p>マスク着用の対応が変わってくるが、園児、保育士の対応はどのように変わってくるのか。</p>
<p>保育長</p>	<p>昨年夏、「園児、未就学児にはマスクの着用を一律には求めない」という国の方針が出されたので、その時より園児のマスク着用は自由とさせていただいている。その後、コロナの感染拡大の波が来た時や感染の危険がある時は、保護者に協力をお願いしてきたこともある。園児に対しては、このような対応で今後も行っていく。大人に対しては、「本人の判断にゆだねる」という国の方針が出されたので、基本それに従っていく。卒園式に関して、園児はマスクの着用をしない。しかし、コロナがなくなったわけではないので、分散型で行うが、保護者に対してはマスクの着用をお願いする。保育士も次に入園進級式、令和5年度の保育運営を控えているので、マスクの着用をさせていただく。</p>
<p>議会議員代表</p>	<p>「おさんぽみまもりサポーター」はどのような方がされているのか。</p>

南保育園 園長	<p>散歩をしていく上で、保育士だけでは人数にも限りがあり、一緒に歩いていただける方がみえたらということで、今回老人クラブの方に説明をさせていただいた。来年度、少しずつ交流しながら一緒に散歩に行く機会ができたらと思っている状況。園児の言葉を拾う上でも、園児は自由に動くので、そこで大人の目がたくさんあった方が安全に楽しめると思い、地域の方と一緒に楽しめる機会ができたらと思い、少しずつ進めている段階。</p>
議会議員代表	<p>「地域で」ということは、良いことだと思う。地域の方も園児と交流できることが元気の源で相乗効果となり、良い取り組みだと思う。多くの方が参加されると良いと思う。</p>
保育長	<p>(2)「令和5年度保育所運営について」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度保育園園児数の説明（資料2） ・昨年11月30日 入園申し込みを締め切り、今年2月10日に保育所利用承諾書を発送。0歳児、3歳以上児は2次、3次募集を実施。 ・申し込みをされたみなさん、第一希望の園にご案内することができた。 ・園児数はほぼ確定だと思うが、変更があるかもしれないので、見込数として表示している。 <ul style="list-style-type: none"> ・「年間事業計画 ことしのあゆみ」の説明（資料3） ・左側が主な年間行事となっている。保護者の皆様にご参加いただく行事に関しては、○印をつけさせていただいている。 ・4月4日 午前中に入園式。午後に在園児を対象に進級式を行う。 ・5月 全園児引き渡し訓練は、保育園緊急メールを登録していただき、その発信テストを兼ねて行う。いざという時のために、ご協力をお願いする。 ・6月～7月 音楽発表会は表現活動として、楽器や歌を楽しむ姿を見ていただきたいと思う。 ・9月 避難訓練は毎月行っていますが、防災の日に合わせて行う防災訓練は、よりしっかりと丁寧に行い、いざという時に備えたいと思っている。 ・10月7日 運動会 戸外で伸び伸びと体を動かす姿を見ていただきたいと思う。 ・10月 秋の遠足 ・12月 生活発表会 言葉のやり取りやそれぞれが自由に表現する姿、またクラスの仲間と同じ目的に向かって取り組む姿を見ていただきたいと思う。

<p>民生委員・ 児童委員代表</p> <p>民生委員・ 児童委員代表</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月～2月 けん玉大会 なわとび大会を予定。日頃の保育の中で取り組んでいる取り組みの成果を園児みんなに見てもらって、喜びや自信とする機会としたいと思う。 ・ 3月28日 卒園式 ・ 保育参観など様々な行事の詳細は、時期が近くなったら、各保育園よりその都度ご案内させていただく。 ・ 学年の帽子と名札の色は参考としてほしい。 ・ 毎日家庭で行える子育て3か条 学校用の子育て10か条を基に、保育士と幼稚園教諭で作成したもの。子どもに笑顔で挨拶をして、子どもの目を見て会話をし、子どもとたくさんスキンシップをはかって、家庭と保育園とが手を取り合い、一緒に子育てに取り組んでいきたいと思っている。身近においていただきたいと思い、ことしのあゆみの中に入れてさせていただいたので、ふとした時に見ていただけたら嬉しく思う。 ・ 園生活の一日の流れ 時間など参考。 ・ 土曜保育 町立保育園は西保育園で集約して実施。大口中保育園は自園で実施。 ・ 休日保育 大口中保育園も含めた4保育園児対象に西保育園で集約して実施 <p>4 その他</p> <p>保育園に挨拶運動に行くと、園児がキラキラした目で挨拶してくれる。その目に元気をいただいているので、ずっと続くと良いと思う。</p> <p>北保育園の「スーパーぴかぴか大作戦」で、ブラシでの掃除や紙やすりを使うことは、あまり行わないことで、良いことだと思う。今、基本的に危ないことはやらないことが多い。しかし、カッターナイフを使って怪我をしたら、次から気をつけるようになる。何でもやらせないと、大人になって「そんなことやったことない」と言い、そんな大人がいっぱいいる。安全を見ながらどんどん行っていただきたい。</p> <p>閉会の挨拶</p>
---	--